

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜豊学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年10月7日(火) 9:30～11:30
- 3 開催場所 岐阜豊学校会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	村瀬 忍	岐阜大学 教授 (欠席)
副 会 長	岩田 順治	岐阜市社会福祉協議会加納東支部 主事
委 員	尾木 大	株式会社岐阜セラック製造所 代表取締役社長 (欠席)
	山村 基翔	岐阜県聴覚障害者協会 理事
	棚原 美歌	加納東地区民生委員児童委員協議会 主任児童委員
	藤井 佐由美	加納幼稚園 園長
	竹中 ちぐさ	本校PTA会長
	佐藤 悠理	本校同窓会 理事 (欠席)

学 校 側	長瀬 さゆり	校長
	廣瀬 めぐみ	事務部長
	安藤 耕作	教頭
	岩田 浩子	幼稚部主事
	篠田 智恵	小学部主事
	今枝 みどり	中学部主事
	久富 喜江	高等部主事
	樋口 さおり	教務主任

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 校長挨拶
- (2) 令和7年度学校経営の目標に対する前期の取組状況について
 - ・「魅力ある岐阜豊学校」となるために学校として取り組む課題、前期の取組状況
 - ・各部の取組、資格取得、コンクール・大会等参加状況
- (3) 授業参観
- (4) 学校評価について
 - ・結果の分析及び課題
- (5) 意見交換

6 意見交換

意見 1：夏季休業中、本校教職員の手話研修会にて手話指導をした。わからないことを質問してもらい、教職員の頑張りが伝わってきた。手話の言葉にこだわり、手話を言語として指導してほしい。

意見 2：授業参観時、マスクをつけたまま通訳をしていた教職員がいた。聾者としては、手話は言語である。表情が見えないことで理解できることが半減してしまう。体調が悪い等の理由であれば、職員を代えるなどの配慮をしてほしい。

意見 3：部活動指導や過剰な労働の軽減をし、教職員が働きやすい働き方改革ができるとよい。

意見 4：掲示物の中には独特の感性、考え方で表現している文章があった。個性を生かす指導がなされている。

意見 5：個々に寄り添って授業がなされており、よい環境となっている。しかし、聾学校の中でしか育っていないため、もっと広い視野をもって自分の力をつけて育ってほしい。

意見 6：掲示物は学びの足跡である。学びがよく見える学校となっている。キャリア教育として自分のよさの生かし方や弱さを立て直して解決していく力をつけていってほしい。

意見 7：学校評価の「分からない」「あてはまらない」と回答した人たちがいることを気にかけ、大事にしてほしい。

⇒アンケート結果について、教職員で検討していく。分からないところをどうやって「分かった」に変えていくのかが我々の役割である。学校が目指していることに立ち返って考えたい。

意見 8：本校は卒業後、就職する者が多い。進学する生徒や保護者へも手厚く指導してほしい。

意見 9：11月からデフリンピックが開催されるが、本校としての関わりはあるのか。

⇒10月23日に、本校にキャラバンカーと6名の選手が来校予定である。太鼓部の演奏とともに全校でエールを送る。

7 会議のまとめ

- ・第2回運営協議会では、学校の課題に対する前期の取組状況について報告し、委員からの意見を得た。また、学校評価についても保護者等を対象とするアンケートを分析したものを報告し、委員から意見を得た。
- ・各委員より得た意見を校内で共有し、教職員が学びを深め、魅力ある聾学校となるための改善方法を探っていく。